

もっくとたくさんお米を食べたり
西条中学校 三年 竹本 梨乃
私はごはんが好きです。だから、朝食に
必ずごはんを食べています。しかし、私以
外の家族はパンを食べる人が減り、こ
のよりに、最近ではごはんを食べる人が減り、
てきていると感じます。
そのことを痛感した出来事がありました。
昨年行った修学旅行のことです。朝食はバ
イキング形式で、パン食かごはん食かを選べ
るよりになっていました。もちろん、私はご
はんを選びましたが、他の人たちちがどちりを
選んだのか気になって辺りを見回してみまし
た。すると、四分の三以上の人がパンを選ん
でいたのです。なぜみんなごはんを選ばない
のだらりと不思議に思いました。パンを選ん
だ友達にその理由を聞いてみると、
「サンヤフレネットストアなどいろいろなパ
ンがあつておいしそりだし、ごはんは味がな
くて飽きるから」と答えました。私ほとも

驚きました。ごはんのいいところは何だと思お
かすにも合いい、飽きがないところだと思。
ていたからです。この出来事から、私と同じ
よりな考えの人ばかりではないといり、これが
わかりました。
今、国民一人当たりの米の消費量が減少し
ているそうです。その原因として、まず食の
多様化が挙げられます。このまま米の消費量が
が減少すると、採算の取れない農家は米作り
をやめてしまいうぞい。そうしたら、私た
ちは今までのように米を食べられなくなるか
もしれません。
では、米の消費量を増やすためにはどうす
ればよいのでしようか。すでに、米を米粉に
加え、パンや麺を作った店や企業がある。増
があります。そういって店や企業がもっと増
えれば米の消費量を増やすことができるとし
よう。さらに、フメカクレのよりに米粉を
使った料理を考案し広く紹介すること、家
庭での米の消費量を増やすことができると思

います。しかし、それだけでは十分とはい
ません。米の消費量が減少している大きな原因は、
時代の変化とともに、私たちが米に関心を持
たなくなってきたことだと私は考えます。米がど
のよりに作られるのか、学校で習いますが、実
際に米作りを体験したことのない人が増えて
います。これでは、米に関心を持つことは
きないでしょう。そこで、小学校などで米作
りを体験する機会を設けるべきだと思います
小学校区内や近くの農家にお願いで、田植
えや稲刈りをさせてもらい、後日、自分で収
穫した米を炊いて食べることを、まず体験し
ます。そうすると、おっ、少しでも米を身
近に感じ、たくさん食べようという気持ちに
なると思っています。

日本の米の自給率はほぼ百パーセントです
が、パンや麺の原料である小麦はほとんどを
輸入に頼っています。外国に頼っていること、
何か起こったときに日本に必要な食料を手

入れることができなくなりました。一人一人が
米を少しでも多く食べれば、食料不足の不安
がかなり解消されます。昔から私たちが食べ
てきた米のよさを見直し、少しでも米の消費
量を増やすためにはどうすればよいか、もっ
と考えていきたいです。